



SDGsの「3すべての人に健康と福祉を」に資する取組です。

新型コロナウイルス感染症入院患者の転院受入可能医療機関について

愛知県では、新型コロナウイルス感染症患者の確保病床のひっ迫を回避し、医療提供体制を維持するため、県独自に「新型コロナウイルス感染症入院患者転院受入医療機関交付金」を2022年8月3日（水）に創設しました。

現在の転院受入可能医療機関は、以下のとおりです。

1 交付金概要

(1) 交付対象

愛知県が指定する新型コロナウイルス感染症患者等の確保病床を有しない県内の病院および有床診療所であり、下記アまたはイのいずれかを満たす医療機関

ア 愛知県が指定する確保病床に入院している陽性患者の転院を受け入れた医療機関

イ 陽性患者である妊婦の分娩に対応した医療機関

(2) 交付額

ア 患者1人当たり1日3万円

イ 患者1人当たり50万円

(3) 対象期間

愛知県の病床フェーズが2以上の期間

<2022年7月15日（金）からフェーズ1に切り替える前日まで>

2 転院受入可能医療機関（2022年8月25日現在）

38医療機関（109床）

＜参考＞ 回復患者転院受入医療機関応援金（2021年1月事業開始）

1 補助対象

新型コロナウイルス感染症から回復し、基礎疾患等で引き続き入院治療が必要な患者の転院を受け入れた医療機関

2 補助基準額

患者1人当たり10万円

3 転院受入可能医療機関（2022年8月25日現在）

186医療機関（482床）